

【平成 28 年度農山漁村振興交付金の評価概要】

本交付金の事業評価は、平成 28 年度に採択された 3 地区を対象に行った。
評価は、実施主体から報告された事業実施評価書等を基に、学識経験者等で構成する評価委員会の意見を聴取した上で行った。
その結果、計画に定められた取組が実施され、成果を十分上げていると認められる「A 評価」が 3 地区となった。
本交付金を活用した取組により、都市と農村との共生・対流等の推進が図られるなど、全地区において一定の成果が発現されていると認められた。

【平成 28 年度農山漁村振興交付金評価委員会の議事概要】

○第 1 回評価委員会及び現地調査

1. 日 時 平成 29 年 7 月 31 日（月）10 時 00 分から 8 月 1 日（火）17 時 30 分まで
2. 場 所 評価委員会会場 東海農政局第 3 会議室（愛知県名古屋市）
現地調査地区 ふるさと体験飛騨高山（岐阜県高山市）、馬瀬地方自然公園づくり委員会（岐阜県下呂市）、食と体験の國・めいほう推進協議会（岐阜県郡上市）

3. 出席者

評価委員会委員（五十音順・敬称略）
有本 信昭 岐阜大学名誉教授
大野 研（委員長）三重大学教養教育機構教授
森 圭子 愛知学院大学心身科学部教授
選定審査委員会委員
森 和志 日本政策金融公庫（現地調査のみ）
評価委員会事務局
東海農政局担当者 9 名

4. 議事概要

- (1) 評価委員会の委員長の選任
 - ・ 委員の互選により、委員長が選任された。
- (2) 評価委員会による評価の実施について
 - ・ 事務局から、「評価の基本的な考え方」及び「具体的な評価方法等」について説明し、確認を行った。
- (3) 農山漁村振興交付金の評価対象地区の概要等について
 - ・ 事務局から、当該交付金の概要並びに、評価対象 3 地区の概要及び事業実施主体の自己評価について説明を行った。
 - ・ 委員からは、特段の質問等はなかった。
- (4) 今後のスケジュール等について
 - ・ 事務局から、8 月 28 日開催の第 2 回評価委員会（評価結果のとりまとめ）に向けて、各委員による評価及び検証を依頼し、委員の了承を得た。

5. 現地調査

- (1) ふるさと体験飛騨高山
 - ・ 平成28年度～平成30年度農山漁村振興交付金実施地区
- (2) 馬瀬地方自然公園づくり委員会
 - ・ 平成26年度～平成28年度都市農村共生・対流総合対策交付金実施地区
- (3) 食と体験の国・めいほう推進協議会
 - ・ 平成29年度～平成31年度農山漁村振興交付金実施地区

○第2回評価委員会

1. 日 時 平成29年8月28日(月)13時30分から15時30分まで
2. 場 所 東海農政局第3会議室
3. 出席者

評価委員会委員(五十音順・敬称略)

有本 信昭	岐阜大学名誉教授
大野 研(委員長)	三重大学教養教育機構教授
森 圭子	愛知学院大学心身科学部教授

評価委員会事務局

東海農政局担当者4名

4. 議事概要

(1) 評価結果のとりまとめについて

- ・ 評価対象の3地区の各事業実施主体から提出された事業実施評価書等を基に、各委員の評価及び検証内容の確認を行い、評価委員会としての評価(ABC評価及びコメント)について議論が行われた。
- ・ 委員会の議論は、地区毎に行われ、委員からは、特に事業実績及び実施体制について質問等があった。
- ・ 議論の結果、「A評価」が3地区となった。

(2) 公表用の評価コメントについて

- ・ 上記(1)の評価結果に基づいて、評価コメントの議論を行った上で委員会として決定し、8月28日付けで東海農政局長へ報告することとした。

平成28年度 農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策)
事業実施主体 評価一覧

●地域資源活用対策及び人材活用対策

【農山漁村の「食」を活用し観光と連携したグリーン・ツーリズム】 2件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評 価 コ ー メ ン ト
				H28	H29	H30		
東海農政局	岐阜県	高山市	ふるさと体験飛騨高山	●	○	□	A	連携体制構築、交流プランの企画・試行、情報発信など、計画に定めた取組が実施されており、売上げ、雇用等の目標がおおむね達成されていることから、成果を十分上げているものと認められる。 高速バス事業者や観光団体との連携体制構築や高速バスを活用した交流プランの企画・試行では十分な配慮と検討がなされており、現状の課題分析も詳細に実施されていることから今後の進展に期待される。子ども達の体験活動の効果検証についてもいち早く検討されており、他にない取り組みとしてモデルとなりうる。
東海農政局	愛知県	大府市 東浦町	ウェルネスバレー推進協議会 グリーン・ツーリズム ワーキンググループ	●	○	□	A	農作業体験等の農業PR活動、農作物の海外向け土産販売、大府駅でのマルシェなど、計画に定めた取組が実施されており、売上げ、雇用等の目標がおおむね達成されていることから、成果を十分上げているものと認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

平成28年度 農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

●地域資源活用対策及び人材活用対策

【(1)活動計画策定】 1件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評 価 コ メ ン ト
				H28	H29	H30	H31	H32		
東海農政局	三重県	御浜町	尾呂志地区活性化プラン推進委員会	●	○	○	○	□	A	活動計画策定、新規作物の導入検討、高齢者の生活支援サービス・高齢者の社会参加支援(集荷システム構築)に向けた取り組みのトライアル、IT活用による地域の情報発信、移住定住の取組検討など、計画に定めた取組が実施されており、交流人口、売上げ等の目標がおおむね達成されていることから、1年目であるが成果を十分上げているものと認められる。 計画から取り組みにおいて、他の地域に対する良好なモデルとなる可能性あり。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調